

令和2年度 鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会 事業計画

《基本方針》

当県のMSWが専門性を発揮し、職場や地域において大いに活躍する
それを支える職能団体を目指す

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、緊急事態宣言が発出され、当県においても生活の中での自粛や制限を求められ、社会・経済にも大きく影響が出ています。そして期間の長期化により、経済的な問題をきたす人、社会参加の機会を失う人と、疾病により様々な社会的問題が生じ始めています。私達MSWは、疾病・障害に起因して生じる心理的・社会的な問題の解決を援助し、社会復帰の促進を図る専門職です。つまり、現在の社会的状況において、私達MSWの役割はとても大きく、これから必要とされる専門職だと言えます。本年度は、この事を念頭において、事業の基本方針、重要課題を考えさせていただきました。まずは新型コロナウイルス感染症への対策、そして、現在の社会情勢に対応できる協会の組織体制の構築を進めたいと思います。次に会員のニーズの把握し、会員の求める協会活動を展開していく方針です。

役員も新体制となりましたので、今期は、基本方針に挙げました「当県のMSWが専門性を発揮し、職場や地域において大いに活躍する」それを支える職能団体としての 基礎づくりの1年 としたいと考えております。

会員の皆さま、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

《令和2年度 重要課題》

- ・新型コロナウイルス感染症に伴う患者、家族の社会的な問題に対するソーシャルワークの提供
- ・各部局、役員の役割を明確にし、機能的な組織体制を構築
- ・会員にニーズを知り、会員の求めに応じた協会活動の検討する
- ・専門職として質の向上、及び、MSW同士のつながり重視した研修の開催
- ・ホームページ、SNSを活用した会員間での情報共有（研修、社会資源、求人など）、そして、会員・非会員・関連団体への当協会活動の積極的な情報発信
- ・多くの会員に活躍の場、機会を提供する仕組みづくり